

第1学年\*組 英語科学習指導案

指導者 T1\*\* \*\*  
T2\*\* \*\*

1 単元名 Unit 4 ホームパーティー(NEW HORIZON English Course 1)

2 目標

- 数を尋ねる問答や、相手に指示・提案する言語活動に積極的に取り組もうとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- How many~?や複数形, Let's や命令文を使い, 書いたり, 適切に問答したりすることができる。  
(外国語表現の能力)
- 相手の質問文を注意深く聞き, 本文の内容を正しく理解することができる。  
(外国語理解の能力)
- 複数形, How many~?の文の形, 指示・提案の用法を理解することができる。  
(言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

本単元では、アレックスが買い物で店員とやり取りする場面から始まり、続くベーカー先生宅のホームパーティーで、先生にペットについて尋ねたり食後に対話をしたりという場面が展開される。文法事項においては、名詞の複数形, How many ~?の文, 相手に指示・提案する文など、日常的によく使われる表現を理解し、会話できるようになることをねらいとしている。

本学級の生徒は、明るく意欲的に授業に参加し、自分の考えや意見を積極的に発表したり質問したりする生徒が多い。本単元の学習を行うに当たって実施した実態調査の結果は次のとおりである。

- 1 あなたは友達と英語で会話することが好きですか。 <関>  
ア：好き(\*名) イ：どちらかといえば好き(\*名) ウ：どちらかといえば嫌い(\*名)  
エ：嫌い(\*名)
- 2 英語のどのような力を伸ばしたいですか。 <関>  
ア：聞く力(\*名) イ：読む力(\*名) ウ：書く力(\*名) エ：話す力(\*名)
- 3 次の( )に適切な英語を入れましょう。 <理>  
「あなたはCDを何枚持っていますか。」 How ( ) ( ) do you have?  
正解(\*名) 誤答(\*名)： many CD 無答(\*名)  
(平成\*年\*月\*日調べ 1年\*組 \*名)

アンケートの結果から、過半数の生徒が英語での会話活動を好んでいるが、その反面で英語での会話に対する苦手意識をもっている生徒も少なくないことが分かった。また、会話活動を楽しみながら行っている過半数の生徒でも、書く活動においては、正答率が低く、既習事項の理解が不十分であることも分かる。その一方で、書く力を伸ばしたいと思っている生徒が非常に多いという結果になった。

これらの結果を踏まえて、ペア活動で話す練習の場を多く設定することによって、相手に伝えたいことが通じた喜びを感じさせるとともに、友達との会話で使った表現を書いてまとめる時間を十分に取入れた授業を展開することによって、本校の研究主題である「確かな学力を身に付けさせる学習指導の在り方」に迫っていきたい。

4 指導と評価の計画(7時間扱い)

第1次 Unit 4 ホームパーティー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6時間

時	学習内容・活動	関	表	理	知	評価規準
1	買い物のやりとりで、複数形の言い方を学ぶことができる。	○	○			・複数形を用いて、買い物での注文や支払いのやりとりをしようとする。
2	複数形を用いた英文を理解することができる。			○		・複数形を用いた英文の内容を理解し、内容に関する簡単な質問に答えることができる。
3	数をたずねる言い方を理解し、インタビューをする。		○			・How many~?を用いてインタビューをし、情報をワークシートにまとめることができる。
4	ベーカー先生と光太の会話を読み、内容を理解する。			○		・数を尋ねる表現を用いた英文の内容を理解し、内容に関する簡単な質問に答えることができる。
⑤ 本時	指示・提案する言い方の形・意味・用法を理解する。				○	・指示・提案する文が主語を用いず、動詞で始まることを理解することができる。
6	ベーカー先生と生徒達の会話を読み、内容を理解する。			○		・会話文を読んで、指示や提案の内容を読み取ることができる。

第2次 まとめと練習・・1時間

5 本時の学習

(1) 目標

指示・提案する表現の用法を理解し、相手に指示したり提案したりすることができる。  
(言語や文化についての知識・理解)

(2) 主体的・協働的な学びのための手立て

ペアで会話する活動を通し、生徒同士が協力し合い、指示・提案する文を正しく理解し、活用できるようにする。また、友達の発表を聞くことにより、さらに新出文法が定着できるようにする。

(3) 準備

ピクチャーチャート、フラッシュカード、ワークシート、CDプレーヤー、短冊黒板

(4) 展開

学習活動・内容	授業形態	支援・援助の留意点及び評価方法 ◎は評価の観点(方法) ※ねらいに迫るための手立ての工夫	
		T 1	T 2
1 ウォームアップをする。 (1) あいさつをする。 (2) 既習表現を使って会話をする。 How many ~? (3) 自分が答えたことを書く。 (例: I have two erasers.)	一斉 ペア		<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気よくあいさつし、英語学習の雰囲気を高める。</li> <li>○つまづいている生徒に支援をし、スムーズな会話活動ができるようにする。</li> <li>○一人にならないよう配慮し、会話に加わる。</li> </ul>
2 学習課題を確認する。 (1) 基本文の導入をする 相手に指示・提案する表現を理解しよう。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>※基本文の命令文と提案する文のポイントを押さえ、普段の授業の中で使う表現や、聞き慣れている表現を使ってイメージさせ、会話活動につなげる。</li> </ul>	
(2) 教科書の基本練習をする。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピクチャーチャートを掲示し、例にならってペアで練習させる。</li> </ul>	
3 会話の練習をする。 (1) ワークシートの説明をする。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの英単語を全員で確認したりモデル会話を用いて分かりやすく説明したりすることで、スムーズな会話活動につなげる。</li> </ul>	
(2) 会話練習をし、発表する。 A: Let's~. B: Yes, let's. / No, let's not..	ペア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで会話する活動を通し、生徒同士が協力し合い、正しく問答できるようにする。</li> <li>・活動中は、机間指導をし、理解度や進行状況を把握する。</li> <li>○一人にならないよう配慮し、会話に加わる。</li> </ul>	
(3) 5 ペア程度の発表を聞く。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>※友達の問答の発表を聞くことにより、さらに Let's ~の定着を図る。</li> <li>◎ペアでの会話活動を通して、誘ったことに対する相手の結果を記入している。(ワークシート、観察)</li> </ul>	
4 本時のまとめをする。 相手に指示する表現の文は動詞で始まり、提案するときは Let's で始まる	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の問題を解くことで指示・提案する文の問答が定着しているか確認する。</li> </ul>	
5 自己評価をする。	個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価をすることで、本時の学習の振り返りをさせる。</li> </ul>	
6 次時の学習課題を知る。 ベーカー先生とわたりの会話を読み、内容を理解しよう。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>※教科書のイラストを使い、次の内容のイメージをふくらませることで、次時の授業につなげる。</li> </ul>	